

授業科目 スポーツ障害理学療法学

【担当教員名】 亀 尾 徹	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：GIO】

1. 広範におよぶ応用医学であるスポーツ医学の概念を認識し、プロスポーツ選手、一般競技スポーツ選手、スポーツ愛好家などに対する理学療法の役割を認知し、評価、治療、管理、予防などについて理解を深める。
2. 成長期、高齢者、女性などの特定の運動グループに対する配慮について学習する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. スポーツ医学の概要を踏まえ、理学療法および理学療法士の存在意義を説明できる。
2. 理学療法における禁忌および注意事項を抽出し、予後を同定し、個人に見合った評価・治療を計画できる。
3. 代表的なスポーツ障害・外傷の病理とクリニカルパターンについて説明でき、評価・治療を選択できる。
4. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに特有なトレーニング方法について説明できる。
5. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションおよび障害予防に用いる補装具およびテーピングについて説明し、実践できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	スポーツ医学およびスポーツ障害・外傷の理学療法総論 一般的医学モデルとスポーツ医学モデルの差とクリニカルリーズニングについて	1	講義
		2	講義
2	スポーツ障害・外傷に対する理学療法に特有のトレーニング スポーツ障害・外傷に対する理学療法の代表的な治療過程	4	講義
		3	講義
3	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 腰部骨盤帯・股関節（1）	2～4	講義
	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 腰部骨盤帯・股関節（2）	2～4	講義
4	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 膝関節（1）	2～4	講義
	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 膝関節（2）	2～4	講義
5	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 肩複合体（1）	2～4	講義
	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 肩複合体（2）	2～4	講義
6	部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 足部 部位別スポーツ障害・外傷の理学療法 肘関節	2～4	講義
		2～4	講義
7	スポーツ障害・外傷に対する補装具およびテーピング（1） スポーツ障害・外傷に対する補装具およびテーピング（2）	5	講義
		5	講義
8	まとめ	1～5	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	Clinical Sports Medicine 3版	Bruckner 他	McGraw Hill	2006
その他の資料	配付資料			

【評価方法】

授業態度、定期試験

【履修上の留意点】